

障害物を実感 車いす体験会

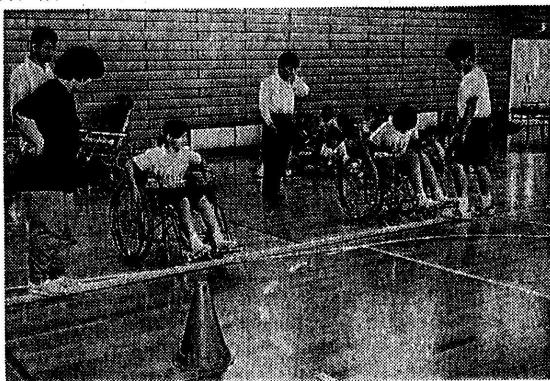
三浦・南下浦小児童ら

お年寄りや体の不自由な人の立場を理解してもらう車いす体験会がこのほど、

三浦市立南下浦小学校(山田玲子校長)の五年生、約二十人を対象に行われた。児童は小さな段差も狭い道が障害になることを実感、「操作が難しかった」「大変さが分かった」など感想を話していた。

指導に当たった市社会福祉協議会では、「こうした試みを通じて地域福祉の輪を広げたい」としており、希望に応じて体験会を開いていく考えだ。

まず社協職員が安全な乗り降りやブレーキのかけ



三浦市立南下浦小学校で行われた車いす体験会

方、曲がるときのコツなどについてアドバイス。児童は自走式の車いすに乗り、木を使った段差を乗り越えたり、カラーコーンが並ぶコースをジグザグに通ったりした。

壁に張り付けた紙を陳列棚の商品に見立てた買い物疑似体験にも挑戦。車いすの介助についても手ほどきを受け、最後にハンディキャブ車を見学した。